



2018年4月2日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

2月15日、保団連中央要請行動が開催された。また、衆議院第2議員会館で「診療報酬改善・『ストップ！患者負担増』をすすめる保団連集会」が開催された。三重協会から鶴飼副会長が参加した。

診療報酬の点数が決まり、その運用が決定していく中、保団連主催の「診療報酬改善・ストップ！患者負担増をすすめる保団連集会」に参加した。今回は、国会会期中ということもあり、国会議員の参加は要請せず、全国の参加者からの発言とフロア討論という形で集会を開催し、全国から12協会69人の参加があった。

住江保団連会長のあいさつの後、武村副会長が基調報告を行い、フロア発言、討論となった。私からは、「ストップ！患者負担増」は待ったなしであることと三重協会のクイズハガキの取り組みと患者さんの声を発言した。ほかにも静岡、兵庫、大阪などの先生方が発言され、たまにはこのような集会の開催のしかたもよいのではと思った。また全国からクイズハガキで寄せられたご意見欄の紹介では、「年金が少なくなるのに医療費負担が増えて受診を手控えざるをえない」などの切実な声が多く紹介された。

今回も集会に先立ち、三重県選出および比例東海選出の国会議員に「ストップ！患者負担増」、特に高齢者の2割負担を中心に要請をしたが、残念ながら議員本人にお会いして要請はできず、秘書対応となった。

(三重県保険医協会副会長・鶴飼伸)

以 上